

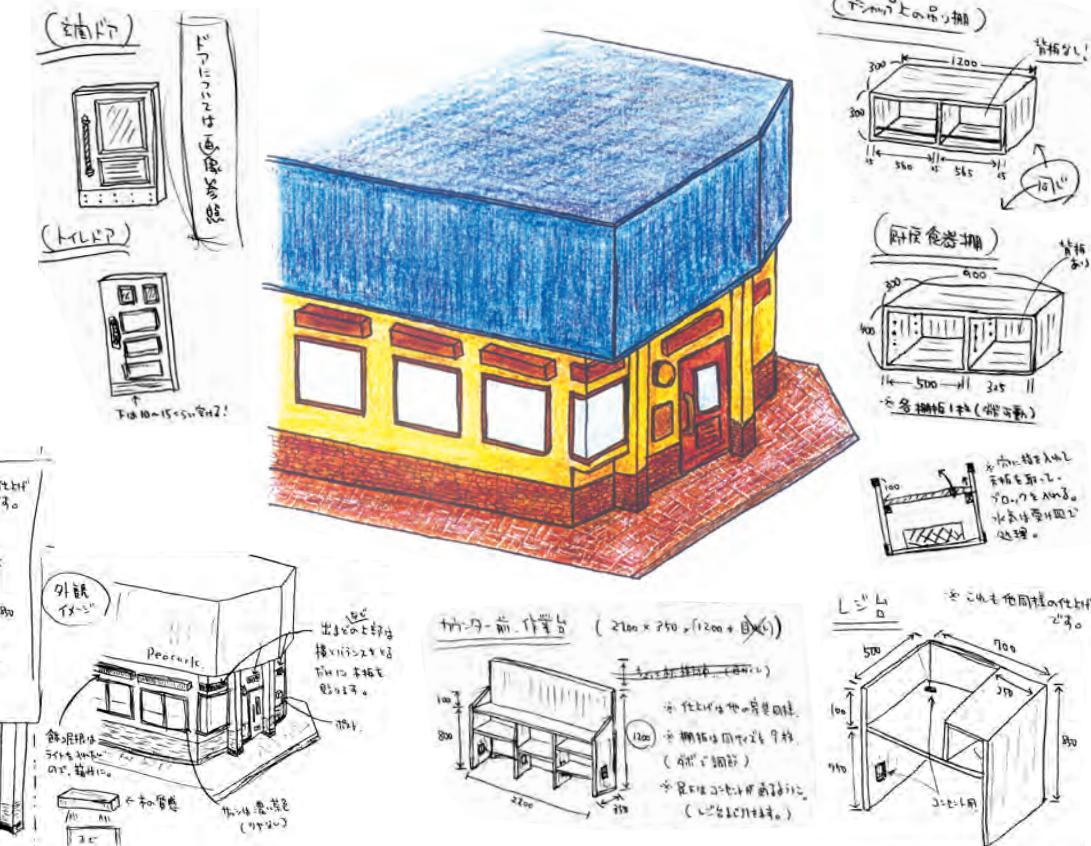
お店の図面を引いたりラフスケッチ描いたり、好きでやってきたことを形にしてみようかなと。

七喜

Magazine for HATTORI City Boys & Girls

2022 Issue.13

あんじょう、えいぜん。



ピーコックマガジン 2022年8月号(隔月発行)

発行／喫茶ビーコック 大阪府豊中市服部元町1-1-6 TEL／06-6864-0317 デザイン／田口工房 TAGUCHI design STUDIO:今田美弥子

くちびるに珈琲を。

好きなことで、役に立つ

The image shows two architectural drawings. The top drawing is a site plan of a long, narrow building complex with various wings and courtyards, labeled with dimensions and room numbers. The bottom drawing is a detailed floor plan of one of the buildings, showing rooms, windows, and doorways, also with dimensions and labels.

「人の役に立つ」なんてたいそうに聞こえるけど
「自分の好きなことで」っていう前置きは大事
世界を変えることはできないし
社会の課題を解決できるなんて思えないけど
目の前の誰かに何かをすることで1ミリだけでも何かが変わるもの
お茶を淹れたり、話をしたり、一緒に考えたり悩んだり
線を引いたり、想像したり
僕にできるちょっととしたことで、誰かが喜べばいいな

つまり、生存活動としての「生活」は個人でもできるんだけど
そこに他人や周囲が関わることで「暮らし」に変わっていく
みんなで作る「暮らし」だからこそ
自分ができる生活の範囲で周囲を含めた豊かな毎日を作りたい

僕の好きな
言葉

やればやるほど技が身につき、
頭と体が丈夫になり、人の役に立つ。(ナリワイの定義)

「ナリワイ」代表 伊藤 洋志

□ 今月の一冊

マイパブリックと
グランドレベル

田中 元子



本と音とお店のはなし。

「あまなく人々にひらかれた私設公民館、喫茶ランドリー」を運営する株式会社グランドレベル代表、田中元子さんの著書。小さな町での「ふるまい屋台」活動や喫茶ランドリーのあり方など、町を使って楽しく暮らすアイデアが満載の本書は、本やPCを閉じて町に出て誰かに会いたくなるような一冊。喫茶ピーコックも「自治会館」になれば良いなと思っています。

□ 僕らの町のお店

JUMPLIFE STUDIO (ジャンプライフ スタジオ)

豊中市曾根東町5-7-9-101

① 10:00~18:00(水~月)※レッスンは最終21:00まで受付可

④ 火曜日

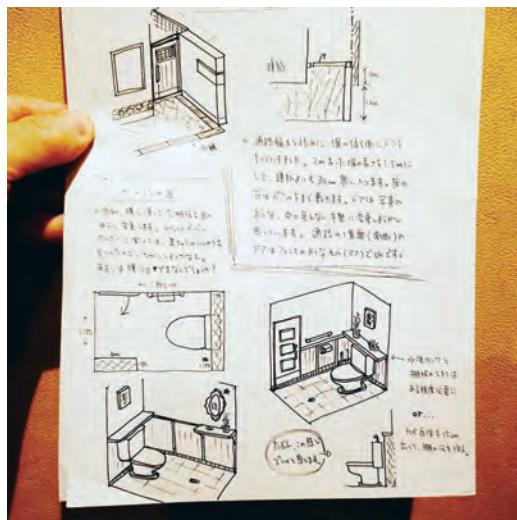
☎ 070-8931-7810 <https://jumplife.co.jp/>



上芝英司 | 1979年服部生まれ、喫茶ピーコック3代目店主。喫茶と文筆に勤しむA型乙女座ヒゲメガネ。企画や作文、図画工作が得意。



<https://peacock64.com>
PEACOCK64 服部



for HATTORI City Boys & Girls
**小さなお店の
アドバイザー**

今回の表紙のイラスト、あれは喫茶ピーコックを改築してリニューアルする時に大工さんとのやり取りで僕が描いたものなんですね。
よく「お上手!」と言われるんだけど、あの当時はそんな余裕なんてなくて、頭のなかにあるイメージをどうつたらこの人に伝えることができるだろうか?」と考えた挙句の苦肉の策なんですよ。下手だと伝わらないし、イメージが違ったものができても困る。

チルホップ(ゆるいチル系ヒップホップ)のトラックメイカー、エビスビーツ。この曲に「おしゃれカフェ」というより古い喫茶店と一緒にパフェを食べる」という歌詞があるんだけど、喫茶ピーコックはまさにそうだよなーとか思って嬉しくなったんですよね。やっぱり喫茶店だよな、と。昔はウチもパフェやってたんですけどね。またやってみようかな。笑

日々、インテリアや雑貨や建築が好きで、お店を始める前からカタログを見たり雑誌を見るのが好きだったし、気になるお店を見に行ったりもしていました。そんな僕が自分のお店の店舗デザインや修繕に関わったり、経営する中のアイデアやハック、苦肉の策や背水の陣を繰り返しているうちに「知恵袋」的なものが出来上がってきましたので、ここ最近は友達のお店や会社の相談に乗るようになっていたんですね。で、せっかくだからそれを形にしてみようと思ったのが、小さなお店のアドバイザー「味良営繕(あんじょうえいぜん)」です。

具体的には小さなお店(主に飲食店)を始める人のサポートや現在されている人へのアドバイス、僕が長年培ってきたアイデアやノウハウをお届けしよう

と

です。

「好き」とで人のお役に立つって

トで吊り照明を延々検索したり、道具屋筋を何時間もウロウロしたり。こう

いう「ある人にとっては面倒な苦行が、僕にとっては大好きな時間」だったり

することってあると思うんです。

は「ええ感じにうまいこと作ったり直

したりする」って感じです。

「あんじょう」っていうのは関西の言葉で、物事をうまいことやるとか良い感じにするっていう意味で、「営繕」は作ったり直したりっていう意味。よう

ら戴きました。

「味良営繕」っていう屋号は、おばあちゃんの「ぐせ」「あんじょうしてあげや」と、おじいさんの屋号「中央営繕」か

思っています。ただただ物を売る毎日にならないように、思いを形に長続きできるお手伝いができたらなと。

「ええ感じにうまいこと作ったり直

したりする」って感じです。

「好き」とで人のお役に立つって

トで吊り照明を延々検索したり、道具屋筋を何時間もウロウロしたり。こう

いう「ある人にとっては面倒な苦行が、僕にとっては大好きな時間」だったり

することってあると思うんです。

は「ええ感じにうまいこと作ったり直

したりする」って感じです。

「好き」とで人のお役に立つって

トで吊り照明を延々検索したり、道具屋筋を何時間もウロウロしたり。こう

いう「ある人にとっては面倒な苦行が、僕にとっては大好きな時間」だったり